

# 図書館だより



京都市立九条中学校

図書館

令和6年度 9月号



「せんしょかい」

『選書会』で選ばれた本が仲間入り！

エアコンのない教室で実施した選書会でしたが、暑さに負けずたくさんの人が参加してくれました。「ネコかわいい！」「あっ、この本、家にある～」「怖い話を読みたい」と楽しそうに話しながら選んでいる人たちがいる一方で、集中してじっと静かに選んでいるグループも…。ほのぼのとした雰囲気の良い選書会でした。

残念ながら町の書店さんもだんだんと減り、紙の本を買い求める機会も少なくなってきました。しかし、活字から学ぶこと、感じることを、考えること、すべて大切な事柄。柔軟で高い感受性と可能性に満ちた中学生にはなおのこと、活字は欠かせない存在です。

みなさんが選んだ本が図書館に並んでいます。ぜひ、読みに来てください。

一部を紹介します。



\*ヨシタケシンスケさんの絵本 ⇒ 日本語版：『「たちよみ文庫」 ぶんこ』 えいごばん としょかん 英語版：図書館 にあります。



## 『たちよみ文庫』について

●書籍と中高生新聞を、各学年のフロアに設置しました。

●読み物に限らず、季節・行事・学習などさまざまな分野のものを並べてあります。

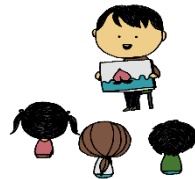
●気軽に手に取って、活字に親しんでください。

●じっくり読みたいときは、貸出できます。

⇒ 勝手に持ち帰ることはできません。図書館まで持参するか、貸出ノートに記入しましょう。

■ 読書にまつわる授業 ■ を紹介します

### 【絵本の読み聞かせ：4・5組】



先日、図書館で読み聞かせを行う授業が行われました。4・5組全員が読み手であり、聞き手でもあります。それぞれが図書館で選んだ絵本を手し、練習の成果を存分に発揮していました。本の持ち方、読み方、間の取り方、声の大きさに気を付けて、何度も何度も練習を重ねてきたことが伝わってきました！

◇ 長文のものを粘り強くやり遂げていました。

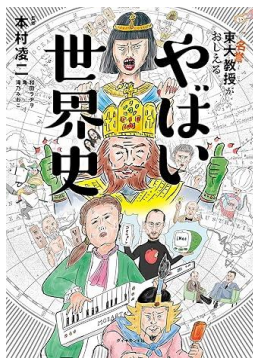
◇ 登場人物のキャラクターに合った声色を工夫していました。

◇ 絵本の内容に合わせて、やさしく呼びかけるような読み方ができていました。

◇ 大きな声でしっかりとよどみなく読めていました。

ちなみに、使われた絵本は『おおかみと7匹のこやぎ』、『きみのことがだいすき』、『とても とても あついひ』、『はらぺこあおむし』でした。絵本は幼児から大人まで楽しめます。ときには絵本を読んでみませんか？癒されたり、和んだり、勇気がもらえたり…。絵本を読み返すと、新しい感情が湧き起こるかもしれません。

## 【ビブリオバトル： 国語科2年生】



これらは、各班で選ばれたチャンプ本(1人ずつおすすめ本をプレゼンテーションしたあと、一番読みたくなった本を投票して決まったもの)の一部です。多くの人に読んでほしくて購入することにしました。届きしたい図書館に並べます。ちなみに、ビブリオバトルという語は、右端の『ビブリア古書堂の事件手帖』が発祥です。

4分間のプレゼンテーションを長く感じた人もいましたが、アドリブを利かせたり、質問を受けたりして、全員がしっかりとやりきる姿に感心しました！何より和気あいあいとした雰囲気と、それぞれの聞く態度がすばらしいです！だからこそ、緊張しながらも安心してプレゼンテーションができるのですね。「よき聞き手が、よき話し手を育てる」と言われます。これからも有意義な言語活動を基盤にますますの伸長を！ 本もどんどん読んでください

